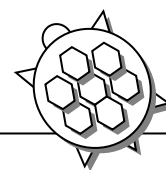


亀さん通信

田んぼの水面が輝く今日この頃、いかがお過ごしでしょうか！

亀のように歩みは遅くとも、『お金力』をしっかり・確実に身に付けていただく【亀さん通信】第128号発信！



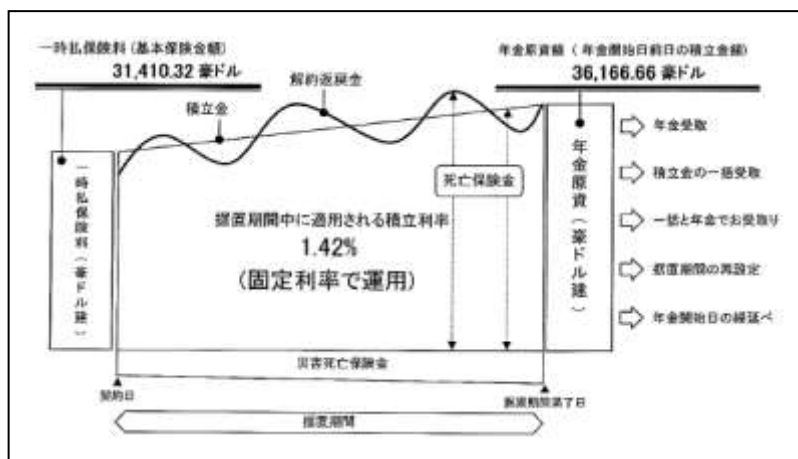
銀行では買ってはいけない！

銀行での保険販売が好調です。売れているのは**外貨建ての個人年金保険**。中でも特に人気があるのが豪（オーストラリア）ドル建ての商品であり、金利の高さがその理由です。「**銀行では投資信託や個人年金保険のような運用商品を買ってはいけない！**」と、常々私は訴えてきました。今回はそれが事実であることを、身近な十六銀行の商品で証明したいと思います。

【PGF 生命「アドバンテージ・セレクト PG」通貨指定型個人年金保険（米ドル建・ユーロ建て・豪ドル建・円建）】

一時払保険料（積立金）をあらかじめ設定した据置期間の間、米ドルなどの選択した通貨で運用し、据置期間満了後に年金または一括で受け取る商品。定額の年金保険であり、**積立金は固定利率で運用**されるため、**据置期間後の受取金額は契約時に確定**します。

■契約例（下図） 通貨：豪ドル 据置期間：10年 一時払保険料：300万円 為替レート：1豪ドル=95.51円（5/25）



据置期間中の積立利率は現在 **1.42%** であり、一時払保険料 31,410.32 豪ドルが 10 年後には **36,166.66 豪ドル** に。仮にその時点での為替レートが同じ 95.51 豪ドルならば、300 万円が 3,454,278 円になる計算（為替手数料は考慮せず）。また、円安に振れて 110 円になっていれば、**為替差益**が発生して 3,978,333 円になります。一方、円高に振れた場合には**為替差損**が発生しますが、82.94 円を割り込まなければ、元本の 300 万円は確保できます。とはいえ、円高になっていれば、据置期間を再設定し、円安に振れるタイミングを待つこともできます。

いかがでしょう。銀行での販売が好調なのもうなずけます。定期預金の金利が 5 年もので **0.05%** であることを考えれば、ずいぶん魅力的な商品に思えます。ですが、本当においしい話なのでしょうか。なにしろお客様第一主義を掲げながら、**自分のことしか考えていない銀行**のこと（元銀行員として恥ずかしい…）。きっと表に出せない秘密があるはずですよ。

豪ドルで運用する固定金利商品の代表格といえば、もちろん**オーストラリア国債**です。そこで、現在 SMBC 日興証券で販売している国債（満期日までの残り期間は 9 年 11 カ月）の利回りを見てみると…

通貨	種類	銘柄名	利率	償還日	残存(約)	利払日	参考価格	利回り(複利)	額面
AUD	既発	オーストラリア国債	3.250%	2025/04/21	9年11 ヵ月	04/21、 10/21	103.90	2.79%	1,000

アドバンテージ・セレクト PG の 1.42% に対し、**国債は 2.79%**！しかも、PGF 生命とオーストラリア国を比べれば、どちらの信用度が高いのかは明白です。大事なことですから何度でも言います。銀行の窓口などで決して投資信託や個人年金保険のような運用商品を購入しないでください。金融機関が勧める商品は、**彼らにとって得なもの（私たちにとって損なもの）が大半**ですから…

暑い日が続きます。体調管理に気をつけてください！

（株）亀山保険事務所 亀山裕弘（ミルロ） 1級ファイナンシャル・プランニング 技能士 0575-28-2768 info@kameyama-hoken.com